

**結婚に関するポジティブなイメージの浸透に向けた広報等実施業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和8年5月25日（月）13時10分から15時30分まで
2	場 所	WEB（Zoom）
3	出席委員	広島県健康福祉局子供未来応援担当部長 広島県健康福祉局子供未来応援課長 広島県総務局施策形成支援チーム担当課長 広島県総務局広報課長 広島県商工労働局人的資本経営促進課担当課長（女性活躍担当）
4	議 題	結婚に関するポジティブなイメージの浸透に向けた広報等実施業務予定者の選定
5	担当部署	健康福祉局子供未来応援課
6	開催方法	1 参集（オンライン開催） 2 持ち回り
7	議事内容	<p>提出された提案書を基にプレゼンテーションによる審査を行い、最も高い評価値を得たD社（株式会社中国四国博報堂）を最優秀提案者として決定した。</p> <p>《提案者ごとの主な評価・選定理由》</p> <p><b>【A社：株式会社読売アルスR広島支社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの参加者がリラックスできる会場の提案や、独自のLP最適化ツールの提案など、各所にきめ細かく配慮した提案内容となっていた。</li> <li>・ワークショップに関する企画は独自性に乏しく、またターゲットの共感を生みにくいと見え、実効性に欠けると感じた。</li> <li>・メインターゲットである「結婚の希望はあるが行動していない者」を実際の行動に移させるための仕掛けや手法に関して、もう少し具体的な提案がほしかった。</li> </ul> <p><b>【B社：株式会社中国放送】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの結果を広報へつなぐ設計は、ターゲットを意識した分かりやすい内容だったが、ラジオについては、部分的な役割とは言え、メインターゲットである20代、30代を捉えることができるか、疑問が残った。</li> <li>・ワークショップの企画や広報戦略は独自性があり評価できる。一方で、提案されているワークショップの内容で参加者の共感を得て、狙い通りの本音を聞き出せるかについては、説得性に欠けると感じる。</li> <li>・独自の人选や広報媒体が、ターゲット層に対しどれだけの影響力を持つのか、より詳しい提案があれば効果がわかりやすかった。</li> </ul> <p><b>【C社：株式会社アドプレックス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報の手法について、ワークショップとの連動性が高く、効果が期待できる内容となっていた。</li> <li>・本事業の目的を理解し、それに沿った現状分析や目論見が明確かつ具体であり評価できる。一方で、独自提案の広報媒体がターゲットに効果的であるかは疑問が残る。</li> <li>・目的や方策が的確な印象であり、限られた予算内で成果を出すための工夫が見られたが、提案内容の具体性はやや乏しい印象を受けた。</li> </ul> <p><b>【D社：株式会社中国四国博報堂】</b></p>

		<ul style="list-style-type: none"><li>• 本事業の目的を理解し、それに沿った目論見が明確であり、その為の実行計画や独自提案、また広告配信戦略も具体的であり評価できる。また、実施体制も十分であることから、事業の効果が期待できる。</li><li>• 実施体制では、ターゲット層に属する事業担当者を配置するといった工夫も見られ、十分な実績ともあいまって、効果的な事業実施が期待できる。</li><li>• ワークショップでの本音を引き出す仕掛けに工夫があり、広報までの一連の流れも具体的で効果が期待できる印象だが、進行に当たっては、スケジュールを順守できるのか疑問が残る。</li></ul>
--	--	---